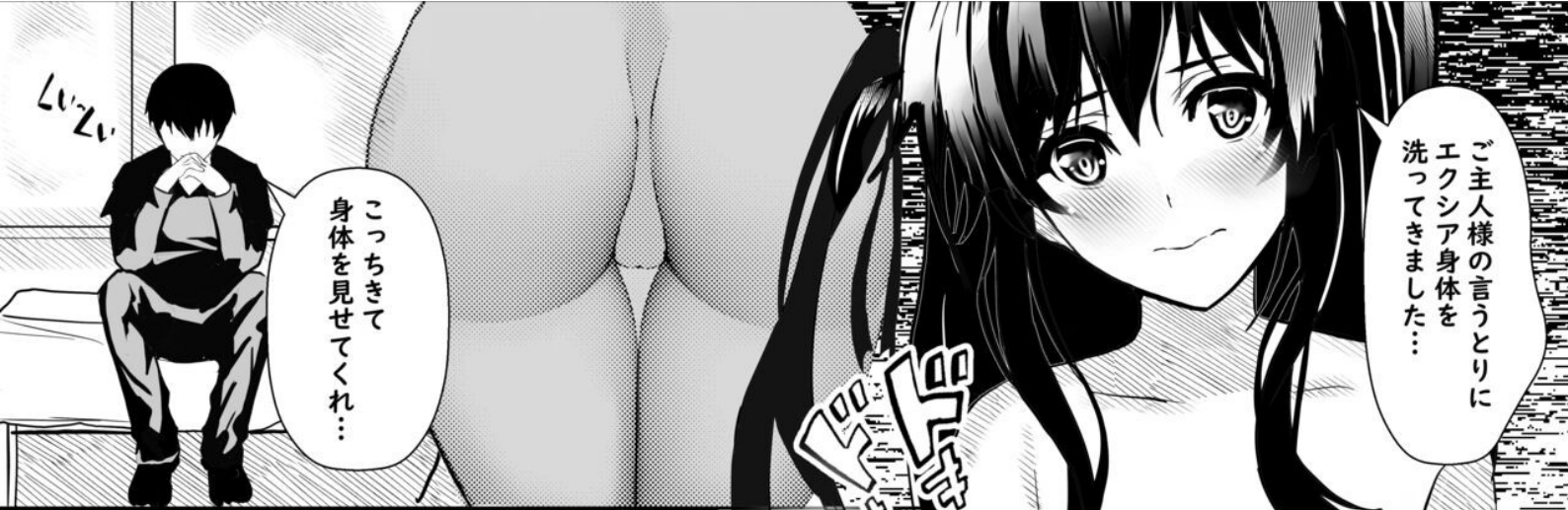


彼女からのプレゼント



彼女からのプレゼント





ご主人様の言う通りに
エクシア身体を
洗ってきました…

こっちきて
身体を見せてくれ…



そうか…

わかりました
ご主人様

私はこのような事は
初めてなので粗相のない
ように努めます



安心しろ
俺がリードするから
エクシアは俺に合わせて

今夜は寝かせないから
勘弁してくれよな…

わかりました
ご主人様…

りっくん
朝だぞ起きろ



エキシア!!

えっなに!!



今日の朝食はわた..
パンだぞ!!

りっくん..
おはよう..
もう朝だぞ..



何で起こしたんだ

いやだから..
遅刻するって言って..
4



びい..

なっん..で..

学校遅刻するぞ..
毎日なんで..
5

どうせエッチな夢
見てたんでしょ!!
寝言言ってたし…

それに起ってるしね…

それは生理現象だろ

まーでも…
そういうだ事で
おれは寝る…

りっくんが起きないと
私が代わりに永眠
させっぞ♥

よし起きるか!!

『名は体を表す』って
ことわざあるけど
絶対嘘だと思う…

わたし冬花
だけど冬
一番嫌いだもん…

いやでも待てよ
私は花のように
綺麗だから
間違っていないのか!!

へえー

ここに一つの矛盾が…



ところで
りっくんはクリスマスの
予定あるの?!

ウチの親
俺をおいて旅行に
行くらしい…

そうなんだ…

ふっ…
私がりっくんの親に
頼んで二人きりにして
もらったのだ…



どうせ…
りっくんも予定ないし
どこか行こうか…

どうせなら
お家でゆっ…

りっくん…





クリスマスの
予定あるよ

大切な人を迎えに
いくんだ…

えっ大切な人?!



そうだから
最近バイトも始めた
のもそのためなんだ…

長かった私の
努力がやっと…



石を買うために

石!!

まやか
の
ダイヤ
モンド!!

私の長い長い
サクセスストーリーが
ついに終わるのか

りっくんこれ
バレンタイン

思い返せば
いろいろあったな…

ほい…
ホワイトデー

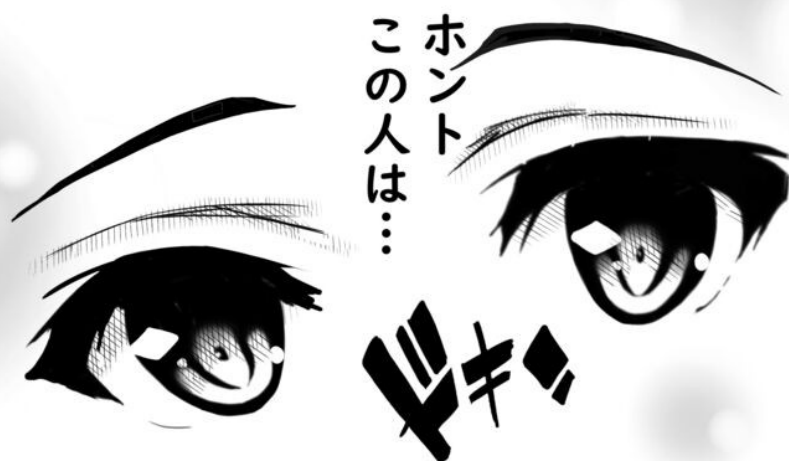
てかオタクのくせに
毎朝起こしに来る

幼馴染が好意
を持つてるって
気づけよ…

オタクとか関係なく
人として終わってる
だろ…

あれ…なんで私この人…
考えるのはやめよう







なっ…わけあるか?!
このクソオタクが…**○ね**

え…何で?!



オレなんか
やっちゃいましたか…

こうなったもう
あの作戦しかないわ…



ナイスパンチ



ズッ

名付けて
推しのコスプレで
イチヤイチヤすれば…









エキシア!

冬花だよ...
何でエキシアの格好してるんだ...

どうかしましたか
ご主人様...
私に御用があるのでは...

冬花何してんだよ
その格好...

そして...
近すぎる...

別に大丈夫だから...

ちよっ...
急に動かな...

あっ... ぶなッ...

私のおでこで
熱を測ってみましょうか...

だが...
か... かわいい...
本物みたいだ...

少し顔が赤い様
みたいですわね

やばい...
お... 胸が...

きゅん



あれ
この流れは

大丈夫
怪我はない

はい…
私は大丈夫です…

もしかして…
もしかする…

ごめん
そういうつもりでは…

そうですか…
それは残念ですね…

何やってんだ
オレは…

えっ!?

っ…ちゅ…んっ…
別に我慢しないでいいですよ。

あなたは私のご主人様
なので私から私を
ご自由にお使いください。

…はっあ…
ちゅ…んっっん
むっ…っちゅう♡

自然と奥に
入っていく…

舌ってこんなにも
絡み合うものなのか…

私は最初から
こうしたかったですよ
ご主人様♡

キスってこんなにも
気持ちいいのか…

どうします…
ご主人様…

このまま私といっしょに
深いお付き合いをしてみ
ませんか…

もう考えたら
負けだ
おれはコイツを
抱きたい…

エクシア最後まで
付き合ってくれるか?!

もちろんです
ご主人様♡

私の身体を綺麗に舐め回してみたくないですか？！

遠慮はいりませんからね…

今にもち切れ！
そんな魅惑の果実が
そこにあつた…

無味なはずなのに
甘く優しい
味がするのはなぜだろう…

まずは二口…
いただきます…

ずっといじって
いたくなる…

…あっ…んあ…
そんなにちくびを
いじめないでください

ずっと吸っていても
飽きがこないのは
おっぱいの効力なのか…

おれは自問自答を唱えながら
エクシアの乳房を何度も
確かめるように
舐め渡していた…

…っん…あん
吸い尽くしそうな
勢いですね…

っ…あん
私のおっぱいは無く
ならないから
じっくり味わってください…



おっぱいだけでは
なく上のほうにも
やわらかいモノが
ありますよ…

…っはあん…ん
ちゅっ…あっ…ん
ちゅ…あは…ん…

数回キスを
交わしただけに
こんなにも馴染んで
いる…

…っふあ…
激しすぎて身体が
ビクビクしてきた…

…はあ…
だけどいつしよに
気持ちよくなれてるなら
うれしいなあ…

オレも気持ち
良すぎて本能の
ままに求めてしっ
ていたよ

ご主人様の
おちんちんもう
こんなに硬くなってる♡

…あっそこは…

もうこんなに
ビクビクしてますよ…
おちんちんがうれしが
ってるんですね…

我慢しないで
おちんちんスツキリ
させてくださいね

ああ…
頼むよ…

軽く先っぽを擦るだけで
こんなにも自然の
ローションがでるなんて
素直でかわいいですね♡

ほらほら…
まだまだこれから
ですよ♡
ご主人様♡

…あっそこは…
刺激が強すぎるよ…
…だっ…っめ…んあん…

噴水の用に
溢れてきておもしろい♡



エクシアはオレの
反応を見て先端やカリ首を
入念に舐め渡していた。

れろ

IP
IP
IP

私の膣に入れる前に
私のお口でご奉仕させて
ください

…あっん…っ



IP
IP
IP

どうですか
私のお口お〇んこは？！



あぁ
あぁ

彼女から送り出される
刺激によりペニスから
我慢汁が溢れだす…

我慢するのに声を
押し殺すのが
精三杯だった！！

おちんちんが熱い
脈を打っているのが
伝わってきます。



ぐわん
ぐわん

…っあ…
そこは…マジで…っやばあ…

次はおっぱいでシゴいてあげますね

どうですか…私のおっぱい♥すごいやわらかいでしょ♥

気持ちいですか…♥

あっ…もう

もう…ダツめだ…オレの中から…っあ…あふれ…でるっ…

ダメだ…

意識を保つのに精一杯で…気を抜くと…逝ってしまいっ…そうだっ…

好きな時に射精してください…

射精る!?



私のおっぱいを
感じ取れましたか!!

すごい:
私のおっぱいが
ご主人様の精液で
いっぱい満たされてる

ああっ:
すごい重量感だったよ...



っはあ...ツン

...っちゅっ...ん
はあ...ちゅっ...



奥まで絞りだして
上げますね♡



あらあら...
すごい汚れてしまっ
ましたね...♡

私のお口で掃除
させていただきますね♡

こんなに濃い
精液を出すなんて
そんなによかったんですね♡

最高に良かったよ

私もこんなに
ご主人様を感じ
れるなんて幸せです♡

聖夜はまだこれからですよ…
充分に私を堪能させてあげます♡
ご主人様♡

フー…
フー…

精液を拭いてから
続きを再開しよう

私のお〇んこも
もうこんなにぐちゃぐちゃ
になってしまいました…

近くで見てください…



ご主人様の
せいで私のお○んこ
がドロドロになって
しまいました。

どうです?!
近くで舐めてみませんか…



わ…わかった…

これがエクシアの…
お○んこ…
なんて綺麗なんだ…

…ちゅ…っ
んっ…はあ…っ
ちゅっ…ぺっろ…

エクシアの膣が
感じてるのがわかる



だ…っダメ…っ
私の中にどんな
忍び込んでくる…

…あうっ…そこは…

私のダメな所を
ピンポイントに
当ててくる…どうして
わかるの…

ご主人様そこは
ダメです…

ご主人様の舌が
私の膣を味わうように
舐めまわしてくる

だめ…ダメ…ダっ…めえ…

そんなに私の膣に
入らないでえ…♡
イっちゃうから♡

…あつ…だめ…っ
ダメですっ…ほんとうっ…に
私の膣をそんなにき乱さないで
ください…ご主人様♡

ああ♡

あふあふ♡

イぐう

びちゃ♡
びちゃ♡

わたしの内側から
止めどなく溢れてくる…

…きもっち…

気持ちいいよっ…

きちゃう…きちようよ
っもう…もうらっ…めっ…
わたしがおかしくなっちゃい
ますよ…♡

ダメっ…だ
もう…我慢できそう…にッ…

はあ…はあ…

イぐってこんな感じなんだ…



っ…はあ…
すごく
気持ちよかったです

彼女の体温を
肌で感じながら
ペニスを
彼女の陰部に
押し当てる

はぁんあっ

はぁ…
はぁ…

濡れてきたし
そろそろ
入れるぞ

はっ…はいっ

グググ

入れるぞ

はい…
きもください♡

…きつきつい…
だが…内側からふれる
興奮を押さえきれない

ギョウ♡

あっ…んっ
エクシアの膣と
繋がっている…

よし…いくぞ

あっ…ちよ…っん
まっ…あ…ん
はっ…んくう…

アッ…

ズッ
ズッ

すごい…
これがエクシアの膣か
バンバンとリズムを
刻むにつれて
オレのペニスが
とろけてしまいそうだ…

激しかったピストンも
しだいにゆっくりになり
彼女の膣の収縮にあわせて
ペニスが同調するように
脈を打つ…

どうですか…
わたしのおま〇こは…

すごく
いいよ本当に…

そうですか…
よかったです…
私の深い所まで
存分に味わってください。

…っあっん…
いっぱい腰を動かして
いいですからね♥

ああ…
わかった…

ペニスが深いところを
つくたびに彼女の
声色が高くなっている
それに合わせて俺の
吐息も混ざる



オレは勢い良く
腰を動かした

...あつだつだめっ♡

あつふれ...ちやうよ...
こわ...つれちやうよ...

あは♡

はっ...あ...んっ
あう...あ...ん
いっ...い...いよ...

きもっ...ち...っ
い...い...っよ...♡

うは♡

ま♡あ♡あ♡

あん♡

ん

ん

ん



そんなにエッチに腰を
動かすから
ご主人様のカタチ
覚えちゃってるよ…

はいって…
きいて…

あん…う
だっだめ…
だめな…の…っ♡

エクシア…
すきっ…だーっ

好きだっ…

私も大好きですよ
ご主人様♡



わたしのおま〇こも
擦り切れそうです…

おちんちん
気持ちよすぎます



だ…ダメだ…

もっ…もう



身体が敏感になっていて
ペニスが痺れてきた

オレももう限界に近い
受け止めてくれ…



わったし…もうっ…
いっちゃ…いそう…です♡

13/10♡

10/10



おんっ!!
おんっ!!

ご主人様のおちんちんが
限界なのわかります。

きてください…
わたしの膣に♡

100%

エクシア射精ぞ!!

射精してください
私の膣に勢いよく…
びゅっびゅっってー♡

いっせー!!

あゝもう
ダメ…
ん…

あゝ
あゝ

っあ…あ…

じっ!!

射精る



うはあッ

あぁぁぁ

…あつきってる…
きてます…わ…たし…の
なかにご主人様の熱い精液が…

とびゅとびゅって
うれしそうに鳴いています♥

おんっ!!

す…ごいっ
熱い火傷しそう…



私の腔にご主人様の
熱い精液が流れ込んでくる



そうですか…
よかったです…



どうでしたか
ご主人様
私のご奉仕は!?

すごい良かったぞ



これは聖夜の夢なのか…



これからもいっしょに
変わらずに一緒に過ごしましょうね

それとも
夜はまだまだ長いですから…

もし夢なら
もう少しだけ覚めない
ようにサンタさんをお願いしよう。